



藍のろうけつ染め

～土器模様タペストリー作り～

春季企画展 国重要文化財指定記念「甲州市安道寺遺跡」ー縄文時代の大きなムラー連携企画

ろうけつ染めは奈良時代に日本に伝わったといわれます。細かい模様・色表現が出来ることから、様々な作品が作られています。一方の「藍染め」は平安時代から行われていて「ジャンプルー」として知られています。

今回はこの2つを組み合わせ、安道寺遺跡の土器をモチーフとした模様で綿の布（約35cm×115cm）を染め抜き、タペストリーに仕上げます。希望者は布を半分に切り、もう1枚でビー玉などを使った絞り染めを楽しむこともできますよ。



制作例

型は切り抜くだけ



ろうは型に沿って

染色の様子

もっと簡単なデザインもご用意♪

たで藍

塗るだけだから簡単

※今回は簡易に染められる、天然インド藍の染料を使います。

↑絞り染めも出来ます。

- 日 時 令和8年6月20日(土) 9:30～16:00
- 場 所 風土記の丘研修センター実習室
- 募集定員 16歳以上の方 合計8名
- 参加費 1,600円(教材費・保険料:参加時にお支払いください)
- 申込方法 参加を希望するご本人が電話または来館にてお申込みください。定員になり次第締め切ります。
- 申込受付 令和8年5月20日(水)より受付開始
- 持ち物等 筆記用具、エプロン(汚れても良い服装)、ゴム手袋(長めのもの)、染まってもよいタオル数枚、昼食
- 申込先 風土記の丘研修センター
甲府市下向山町1271 電話055-266-5286
休館日:毎週月曜日

■ ホームページ

山梨県立考古博物館

検索



山梨県立考古博物館
風土記の丘研修センター
Yamanashi Pref. Archaeological Museum